

◎ ジョッキングクラブ

○ ゴールデンウィーク初日の二十九日万博公園にて朝日放送主催の第二回健康マラソン大会に当団地の「おきょう会」より男女十二名が参加しました。

当日は快晴で近畿の各府県から八十二才の方を筆頭に六百八十余人の参加がありました。

同公園を一周10キロメートルコースで優勝タイムは31分45秒でありました。

「おきょう会」より参加した方々のタイムは次の通りです。

前回敢闘の植木聰氏が途中棄権され、又、小島敏彦氏も不調なのは残念でした。

成績

30才代	本村富男	(14棟105)	42分45秒
	岡昌男	(35棟404)	45分14秒
	江原利武	(37棟101)	49分37秒
	小島敏彦	(25棟505)	66分9秒
40才代	上野康男	(40棟405)	46分41秒
	山田俊明	(30棟203)	46分41秒
	横田晃一	(37棟404)	54分13秒
50才代	植木聰	(32棟204)	棄権
	酒居公明	(37棟201)	48分23秒
女子	小島貴子	(25棟505)	50分10秒
	荒井久代	(14棟202)	51分47秒
	忽那由桂	(34棟401)	54分47秒

保木かをる (28棟104) 55分4秒

来年度は、ぜひ皆様も御参加下さい！

○ 四月十五日箕面市スポーツ大会の硬式テニスの部で、「おきょう会」の小島氏が一般男子の部で、三年連続優勝されました。

日頃のランニングの成果でしょうか？

○ 「おきょう会」の集合時間は、毎朝六時十五分(日・祝日は七時)で場所は24棟前の広場です。

文化展開催

文化部

文化部の主催による文化展は、四月七日(土)八日(日)の両日、集会所にて開催されました。

油絵、ちぎり絵、押絵、書道、創作人形、木目込人形、生花、アートフラワー、その他の手芸品など、日頃の創作活動の成果が持ち寄られました。

その中には、素人ばなれした作品も多く、見る人の目をしばしば見張らせたようです。

八日(日)は、あいにくの大霖にもかかわらず、知事選挙の投票帰りの夫婦連れや、家族連れでにぎわい、二日間の来場者は五百余名にもなりました。

出品者数五十八名、出品点数百三十八点。

又、和室では、福寿会の方々の御協力によって茶道のお手前も披露されました。

初めて接するちょっとかしこまつた小中学生や殿方、「何年振りかしら……」と言ひながら、「久し振りに落ちついた気分を味わいました。」と

おっしゃる奥様方で、ひきも切らず、にぎわいました。

次回の文化展では、子供の作品をもつと多く出品してもらい、バラエティーに富んだ「みんなの文化展」に発展させたいと思います。御協力下さい。

「栗生の人々」では、『人間くさい』や『ばつたい一面』特にお願ひしてみたし、「あおずめ」と、『あおすずめ』で編集子の声を収録したこと

今年の編集で新味といえば「栗生の人々」で、会長、副会長、専門部長の横顔を紹介したことと、「あおすずめ」で編集子の声を収録したこと

とあります。

「栗生の人々」では、『人間くさい』や『ばつたい一面』特にお願ひしてみたし、「あおずめ」では、記事集めとその編集という受身の部分だけではなく、何らかの積極的な意思の表現をこのコラムに託したのである。

そして、この二つの意図はまず成功したと思う。このほか特に印象に残っている出来事は「阪急バスのりばの一本化」の際の初日に実情をルポしたことと、「駐車問題」で棟前駐車追放運動を実行して報告したこと、夏に花火パトロールを実行したことなどである。

ルポ記事は少なかつたが、今後は情況に応じてふやしてゆければ面白いし、棟前駐車追放運動はチエックされた方々の協力が得られて円滑に進めることができ、今でも殆んど違反はない。

他の棟の実情をみると、依然として棟前駐車は減っていないし、一般道路上の青空駐車も減っていない。この状態で何時迄も放置されることは考えられないでの車所有者の良識で早くこの悪い習慣を止めもらいたい。

花火の件は、大きな音を出すものを売らないよう業者に働きかけることと、各位にも早目に呼びかける必要がある。

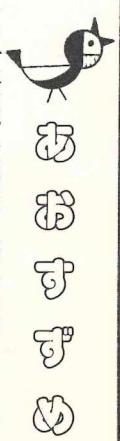
このようにして、毎月の原稿依頼など余暇をさいいてのことなので、ちょっぴり苦しかったけれども、充実した一年であった。

これも、一つには接触を持った人々が、自治会活動を本当に理解して協力して下さったからで、厚く御礼を申し上げ筆をおきます。

任期最後の栗生ニュースを皆様に御届し、ホッとしています。

この一年間全くの素人集団で始まり、素人の悲しさ勝手がわからずとまどっていましたが旧役員等の方々の助言でなんとかきりぬけてこれました。

広報では、皆様の投稿がなければ成り立つていませんので投稿されました方に対し御礼を申上げますと共に、新広報部に対し一層の御協力をお願いします。



高層住宅計画について

(オアシス横およびバス停横)

環境衛生部



住宅公団が、オアシス横の交叉点角の土地に高層住宅の建設画を立てていると聞き、公団から次のような説明を受けました。

・ オアシス横の土地には総戸数三二戸の九階建の高層住宅を建設する計画で建築確認申請準備中であることを。

・ 団地バス停横の土地も高層住宅建設の計画を持つおり現在問い合わせをすること。

・ 現在下水処理施設がある用地にも公共下水の共用後は、本施設をとりこなし、住宅を建設する予定でこれらは昭和四十七年に箕面市と公団の間で栗生団地には全戸数二四七〇戸建築すると約定があり、この用地の計画は当初より含まれている。

これに対し自治会側は、オアシス横、バス停横の

用地は駐車場用地と説明されていたのに突然用途変更し高層住宅を建設するのはなつとくできないし、公団の国会答弁では箕面市との協定にある戸数よりも少ない戸数を建築するとの約束がされていて反論し、建築確認申請を取止めること、今後の全体計画を示すことの二点を要求しました。

その後関係者間で打合せをし、箕面市長及び箕面市議会議長宛次のような趣旨の陳情書を四月五日付で自治会長より提出願いました。

『オアシス横、バス停横の土地は、公団は住民に対し駐車場予定地であると説明し、公団の団地面にも①の記号が記され、バス停横の土地はすでに駐車場としての形態を備えている。

34・35・40・41棟の住民は、住宅の選定に当つて道路に面している為の自動車騒音の欠点と引見守つていく必要があると考えます。

尚同様の趣旨で住宅公団関西支社長宛、本計画の中止を求める申し入れ書を渡しました。

この問題は今後どのように展開するか注意深く見守つていく必要があると考えます。

尚同様の趣旨で住宅公団関西支社長宛、本計画の申立てを拒否する申立て書を渡しました。

この問題は今後どのように展開するか注意深く見守つていく必要があると考えます。